

# 《令和5年第1回大空町議会定例会一般質問通告内容集約書》

【4名7件】

[令和5年2月28日整理・大空町議会事務局]

質問日	順	質問者	質問事項	頁
3月7日 (火曜日)	1	岩原 繁 議員 (質問時間 30分)  質問受付： 令和 5年 2月24日 午前 9時00分	1. 旧女満別幼稚園跡地の利活用について  2. 斜網地区広域ごみ処理基本計画について	1
	2	大泉 知功 議員 (質問時間 30分)  質問受付： 令和 5年 2月28日 午前 9時15分	1. 外国人技能実習生確保のための環境整備について  2. 外国人観光客（インバウンド）に対する多言語案内について	2
	3	鈴木 秀之 議員 (質問時間 45分)  質問受付： 令和 5年 2月28日 午前11時35分	1. 私たちの暮らしと定住自立圏について  2. 外国人技能実習生等の受入れ環境の充実について	4
	4	上地 史隆 議員 (質問時間 30分)  質問受付： 令和 5年 2月28日 午後 2時45分	1. 障害者総合支援法の取り組みについて	6

※ 一般質問は「一問一答方式」にて、通告順により行われます。

※ 傍聴席入口に掲示の傍聴規則を順守の上、携帯電話の電源はお切りくださるよう御協力をお願いします。

※ 御不明な点などがありましたら、議会事務局までお問い合わせください。

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 旧女満別幼稚園跡地の利活用について	<p>(1) 旧女満別幼稚園は、昭和45年(1970年)4月1日に開園され、令和2年(2020年)10月1日に認定こども園めまんべつへの移管に伴い、その長い歴史を閉じ閉園となりました。その後、施設は解体され、施設跡地は整地されています。幼稚園跡地は、国(財務省)に返還されましたが、現在の管理状況等について伺います。</p> <p>(2) 幼稚園跡地の国からの払下げを含め、今後の利活用について現時点どのようなお考えか伺います。</p> <p>(3) 現有状況では、除草管理など周辺住民からも早期の計画を望む声もあり、国から買い取り、移住・定住希望者などの宅地分譲地として利活用されてはとの意見もありますが、町長のお考えを伺います。</p>	町長
2. 斜網地区広域ごみ処理基本計画について	<p>(1) 1市4町(網走市・美幌町・斜里町・小清水町・大空町)の広域ごみ処理に関する計画(案)の概要が出されましたが、この広域化に関する経緯と協定内容について伺います。</p> <p>(2) この計画(案)では、持続可能なゴミ処理の推進を掲げていますが、推進内容等について伺います。</p> <p>(3) 広域焼却処理施設の建設候補地と現段階における今後のスケジュール等について伺います。</p>	町長

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 外国人技能実習生確保のための環境整備について	<p>総務省が発表した2022年住民基本台帳人口移動報告において、大空町は『37人の転入超過』との新聞報道がありました。オホーツク管内全体では転出超過となった市町村が多数の中、本町の結果は、移住・定住支援室が中心となって積極的に取り組んでいる「移住・起業等の人口減対策」が成果として表れたのではないかと思います。</p> <p>移住・定住支援室に報告内容についてお聞きしたところ、超過37人中、16人は外国人の増加であり、そのほとんどが「外国人技能実習生」とのことでした。</p> <p>国内全体の労働力人口の減少により、医療福祉・介護・農業・建設現場など、様々な業種において労働力不足が喫緊の課題となっており、本町においても外国人技能実習生が貴重な人材としてまさに活躍されていると思いますが、コロナ禍が落ち着きつつある今日、外国人技能実習生を求める事業所の需要はさらに高まっていくのではないかと考えます。</p> <p>本町における外国人技能実習生の実態と環境整備について伺います。</p> <p>(1) 外国人技能実習生の現状について</p> <p>(2) 外国人技能実習生の受入れに係る課題と環境整備について</p> <p>(3) 外国人技能実習生向け語学等の支援・サポートについて</p>	町 長
2. 外国人観光客（インバウンド）に対する多言語案内について	<p>国内外で非常に長い期間、コロナ禍が続き、日常生活や様々な経済活動等へ大きな影響等を受けましたが、昨年10月の水際対策の大幅な緩和以降、来日されるインバウンド数は、コロナ禍前の水準に向けて回復傾向にあるとの報道で、道内、オホーツク地域を訪れるインバウンドが多く見られるようになりました。</p> <p>道内各空港から、韓国や台湾などへのチャーター便が就航し、国際線の運航が約3年振りに再開されるなど、今後、一層のインバウンドの増加が見込まれますが、レンタカーによる交通事故等が増加するのではないかと心配するところです。家族旅行中に不慣れな冬道での交通事故により2名事故死との過日の報道もありました。</p> <p>様々な国々から来訪されますが、交通標識をはじめ観光</p>	町 長

地の案内板等の多くは「日本語表記が中心」となっており、インバウンドの皆さんも「よく分からない」と感じているのではないのでしょうか。

また、JR女満別駅を利用したインバウンドの方々から「行き先を尋ねられて困った」という話を聞きました。

以上のことから、次の点について伺います。

- (1) インバウンドが運転するレンタカーの事故防止や標識等に係る本町の取組みについて
- (2) インバウンドの回復傾向を踏まえ、観光地への案内等の表示物について、多言語化に取り組んでみてはどうか
- (3) JR女満別駅の時刻表、周辺アクセス案内等が日本語表示のみであり、少なくとも英語のパンフレット等は備え置いてはどうか

質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 私たちの暮らしと定住自立圏について	<p>(1) 定住自立圏形成に伴う事業展開について</p> <p>平成23年3月23日に網走市と大空町は、「定住自立圏の形成に関する協定書」を締結していました。</p> <p>令和4年3月に網走市・斜里町・小清水町・清里町・大空町の1市4町で新たな定住自立圏を形成することに伴い、統一した内容での協定書が締結されています。</p> <p>最初の協定締結以来12年が経過しました。協定締結によって得られた成果が町民生活にどのように反映されたのか。町民への広報活動がどのように展開されたのか状況を伺います。</p>	町長
	<p>(2) 町政執行方針にある「東オホーツク定住自立圏共生ビジョン」について</p> <p>大空町議会においては、網走市と締結した協定に関し、平成23年3月に「定住自立圏形成協定調査等特別委員会」を設置し、慎重審議をしています。</p> <p>委員会審議を5回重ね、平成24年3月に「定住自立圏共生ビジョンの実践を通して、行政区分を超えた住民相互の利便性を高める施策の展開を期待する」と委員会報告がなされています。</p> <p>新たな協定による共生ビジョンに基づく事業展開について、町民への情報提供と今後の対応について、町長の見解を伺います。</p>	町長
	<p>(3) 私たちの暮らしに関する施策の連携する取組及び市と町の役割分担について</p> <p>昨年からの新たな協定で、私たちの暮らしに係る身近な「生活機能の強化に係る政策分野」として挙げられている政策で、特に医療、教育、環境に関する分野に絞って、現時点での連携効果の評価と今後の事業展開について、どう捉えているのか伺います。</p> <p>関係する分野について、町長並びに教育長の見解を伺います。</p>	町長 教育長



質問事項	質問の要旨	質問相手
1. 障害者総合支援法の取り組みについて	<p>(1) 障害者総合支援法に定める自立支援給付は、利用するサービス費用の一部を行政が障害のある方へ個別に給付するものです。具体的には、障害に関する医療や福祉サービス、福祉用具などの費用が給付されます。</p> <p>基本的な運用ルールは国（厚生労働省）が定めていますが、我が町のサービスの現状はどのようになっているのか伺います。</p> <p>(2) 障害者総合支援法に定める地域生活支援事業は、国が一律に運用ルールを定めて実施するものではなく、障害のある方が住む地域において、地域の特性や利用者の状況に応じて柔軟に運用ルールを定めて実施する事業となっています。</p> <p>我が町のサービスの現状はどのようになっているのか伺います。</p>	町長